

おきぎんふるさと振興基金 第30回(2020年度)助成事業
「琉球辞令書集成のための基礎的研究」事業報告書

2022年11月1日
琉球辞令書研究会
麻生 伸一
山田 浩世
濱地 龍磨

はじめに(研究目的など)

琉球辞令書とは、王府および地方の役人・神女などの任命や給与授与などを記載した国王発給文書である。琉球辞令書の史的価値でもっとも重要な点は同時代史料であり、とりわけ同時代史料の少ない古琉球期の琉球史研究で重視されてきた史料のひとつである。また、現在のところ1523年から1878年までのおよそ350年にわたって発給が確認できる史料でもあり、琉球王国の運営実態を解明する上で見逃してはならない史料である。

このように、辞令書は琉球王国の国家運営の基本史料であり、辞令書の研究は、そのまま首里城のソフト面での再建を支えるものとなることが期待される。また、奄美地域を含め、琉球諸島全域にわたる地方行政の運営や村落祭祀を考えるうえで琉球辞令書の持つ情報は有用であり、本プロジェクトで取りまとめたデータは、将来的に地域振興の基礎的な史料となるだろう。

以上のように、琉球沖縄の歴史や文化を明らかにする基礎史料が琉球辞令書であると言えるが、これまでフルテキスト化を含め、辞令書の全体像が示されたことはなかった。たしかに沖縄県教育委員会編『辞令書等古文書調査報告書』(沖縄県教育委員会1979年)などが公表されてきたが、新しい辞令書の「発見」もあるため、情報をあらためて更新する必要がある。そのなかでも琉球辞令書の所在確認調査は喫緊の課題である。

そこで、わたしたちは、これまでにまとめたデータをもとに本調査を踏まえて辞令書一覧を刷新し、細目ごとに情報のデータベースを作成した。あわせて現状確認できる辞令書のフルテキスト化を完成させた。本研究成果を通して琉球の歴史・文化を再確認するための基盤となることを期待したい。

1. 活動概要

当初計画では県外出張を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う渡航制限の影響を受けて、調査が思うように実施できない状況となった。そのため、沖縄県内および沖縄島内の調査を中心に実施しつつ、これまでの先行研究や資料集・図録などに掲載された辞令書の情報を収集し、辞令書のデータベースを作成する作業を行った。また、調査予定だった辞令書に関しては、デジタルデータの収集など実地調査以外の方法で実施した。調

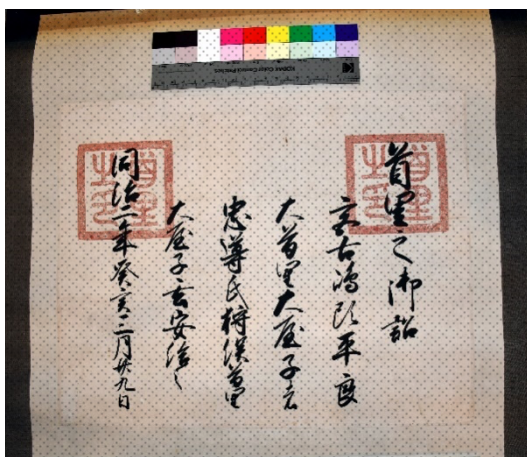
査日程はつぎの通りである。

①宮古島調査

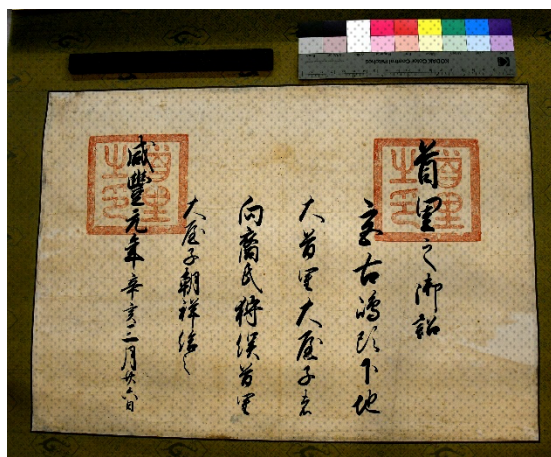
[調査日程] 2021年10月16日

[調査地] 宮古島市総合博物館

[調査辞令書]



○「忠導氏狩俣首里大屋子玄安宛辞令書」
(宮古島市総合博物館所蔵)



○「向裔氏狩俣首里大屋子朝祥宛辞令書」
(宮古島市総合博物館所蔵)

*画像はコピー防止のため網掛け処理をしている。

[調査概要・所見]

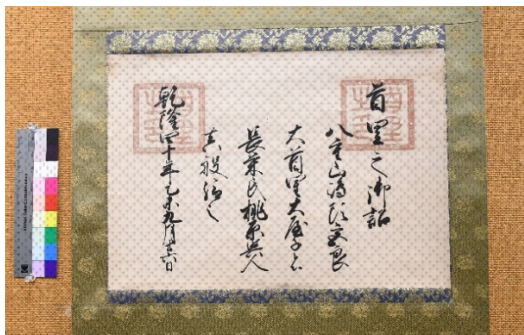
- ・資料の実見および写真撮影をおこなった。
- ・朱印の押印は、墨書きの上からであることをマイクロスコープで確認した。
- ・首里之印が本文冒頭の「首里」と「年号」の書き位置が揃えられている点を確認した。

②石垣島調査

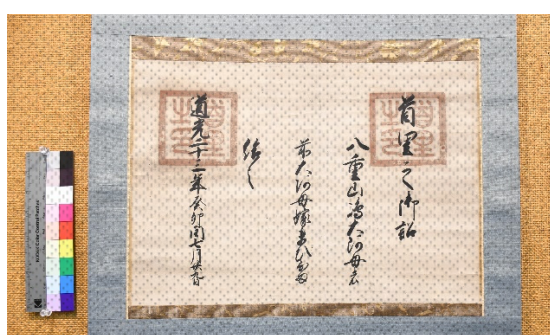
[調査日程] 2021年10月21日から22日

[調査地] 石垣市立八重山博物館

[調査辞令書]

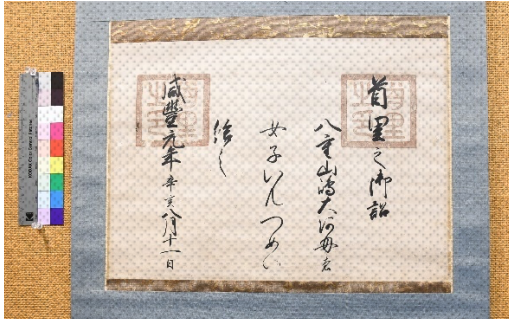


○「長栄氏桃原与人真般宛辞令書」
石垣市立八重山博物館所蔵

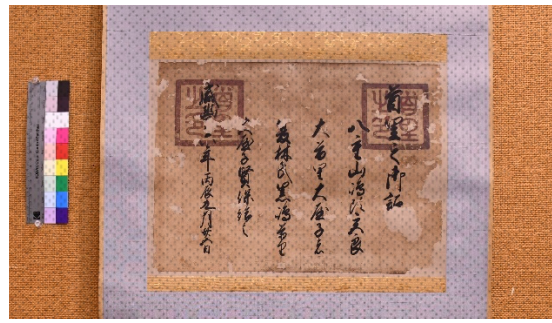


○「前大阿母嫁まひなま宛辞令書」
石垣市立八重山博物館所蔵

*画像はコピー防止のため網掛け処理をしている。



○「女子いんつめい宛辞令書」
(石垣市立八重山博物館所蔵)



○「夏林氏黒嶋首里大屋子賢保宛辞令書」
(石垣市立八重山博物館所蔵)

*画像はコピー防止のため網掛け処理をしている。

[調査概要・所見]

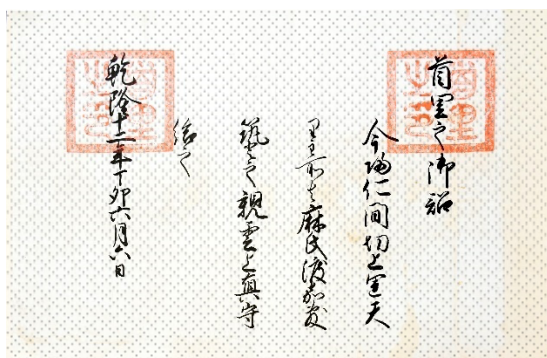
- ・資料の実見および写真撮影をおこなった。
- ・朱印の押印は、墨書きの上からであることを目視で確認した。
- ・「首里之印」(朱印)が本文冒頭に記載されている「首里之御詔」と本文末尾に記載されている「年号(「乾隆四十年乙未九月廿六日」「道光二十三年癸卯閏七月廿九日」「咸豊九年辛寅八月十一日」「咸豊六年丙辰九月廿五日)」の書き位置が揃えられている点を確認した。
- ・今回調査を行った2点は、ともに咸豊年間に発出された辞令書であり、「向裔氏狩俣首里大屋子朝祥宛辞令書」(宮古島市総合博物館所蔵)と同一人物が作製した可能性があることを確認した。

③沖繩調査

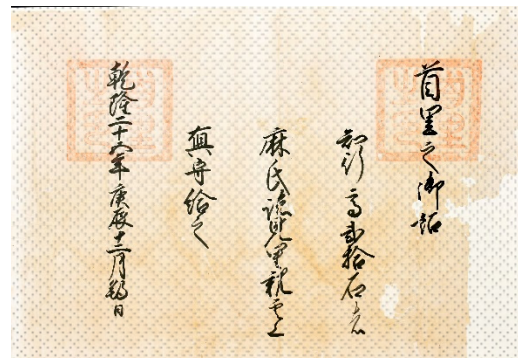
[調査日程] 2021年12月14日

[調査地] 沖縄県立博物館・美術館

[調査辞令書]

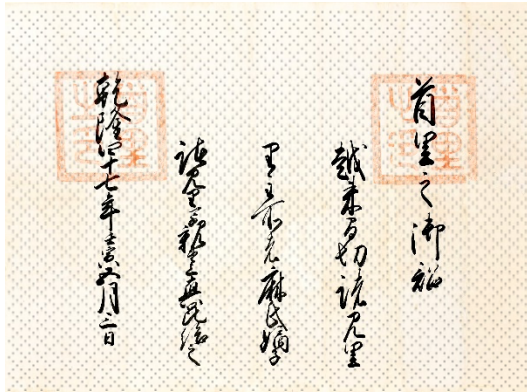


○麻氏渡嘉敷敷登之親雲上真守宛辞令書
(沖縄県立博物館・美術館所蔵)

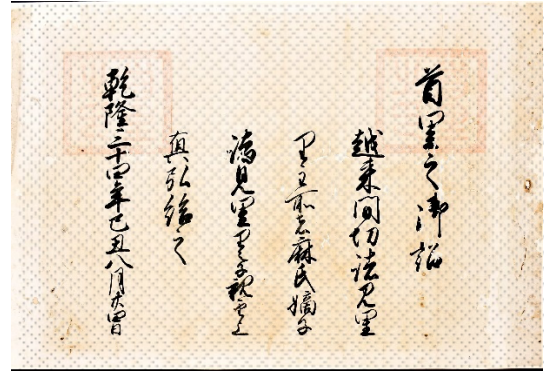


○麻氏上運天親雲上真守宛辞令書
(沖縄県立博物館・美術館所蔵)

*画像はコピー防止のため網掛け処理をしている。

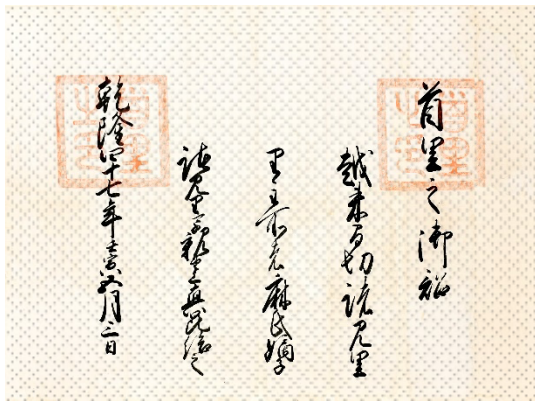


○麻氏諸見里親雲上真守宛辞令書
(沖縄県立博物館・美術館所蔵)

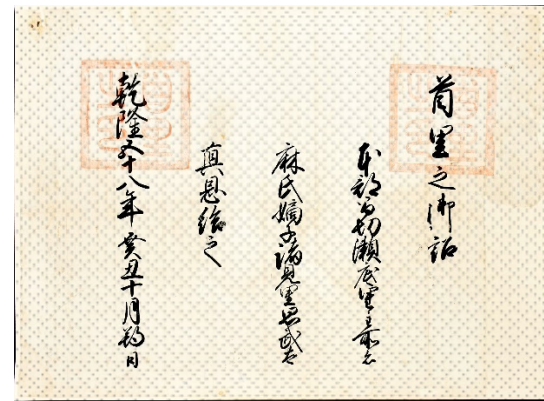


○麻氏嫡子諸見里里之子親雲上真弘宛辞令書
(沖縄県立博物館・美術館所蔵)

* 画像はコピー防止のため網掛け処理をしている。



○麻氏嫡子諸見里里之子親雲上真昆宛辞令書
(沖縄県立博物館・美術館所蔵)



○麻氏嫡子諸見里里之子親雲上真恩宛辞令書
(沖縄県立博物館・美術館所蔵)

* 画像はコピー防止のため網掛け処理をしている。

[調査概要・所見]

- ・資料の実見および写真撮影をおこなった。
- ・宮古島、石垣島調査の対象史料より約 100 年前の時期の史料であるが、朱印の押印は、墨書きの上からであることを目視で確認した。
- ・首里之印が本文冒頭の「首里」と「年号」の書き位置が揃えられている点を確認した。
- ・以上の点より、乾隆期から琉球辞令書の作成規定はおおよそ変化が無かったと捉えることができる。
- ・冒頭 3 点については、一人の人物への辞令内容が時系列で確認することができる大変貴重な史料である。
- ・4 点目については、辞令書に書かれた位階が「里之子親雲上」となっており、冒頭 3 点の辞令書を受給した真守の当初の位階「筑登之親雲上」とは異なっている。これは、真守の功績(冒頭 3 点など)によって「筋目正」が行われたためと考えられる。

④東京調査

[調査日程] 2022年7月6日

[調査地] 法政大学沖縄文化研究所など

[調査資料] 渡口真清書簡

[調査概要・所見]

- ・いわゆる田名家文書に関する渡口真清の解説文が掲載されていた。

④その他、収集データなど

- ・「八重山大阿母任命書写真」（國學院大學折口博士記念古代研究所所蔵）

- ・新出史料の確認

馬氏次男仲村里之子親雲上良寛宛辞令書（乾隆54、1789年）

2. 研究成果

(1) 辞令書一覧の作成

これまでの調査で確認した230点の辞令書について、年号、受給者、地域、受給者情報（所蔵先・所収先）、画像データの有無、本文テキストという項目立てでデータベースを作成している。

- ・作成中のデータベース一部抜粋

| 管理番号 | 年号 | 西暦 | 干支 | 月日 | 琉球年号 | 受給者 | 地域 | 所蔵先・所収先 | 画像データ | 本文テキスト |
|------|-------|----|----|--------|------|------------------|----|---------------------------------------|-------|---|
| I-1 | 嘉靖2年 | | | 8月26日 | | 勢造富引のシホタルモイ文字 | 沖縄 | 沖縄県立博物館・美術館（寄託） | ○ | しよりの御ミ事/たうへまいる/たから丸か/くわに しやや/☆せいやりとミかひきの☆/一人しほたるも いてこくに/たまわり申候/しよよりよりひたるもい てこくの方へまいる/嘉靖二年八月廿六日 |
| I-2 | 嘉靖3年 | | | 4月20日 | | 北の庫理の東風平の小屋子もい | 沖縄 | 宮里栄輝「琉球古来の土地分別法」/「東名家 譜」 | | しよりの御ミ事/にしこのりの/一人こちひらの大 やぐもい/かちふしおれ/二めきまよち星と こるまわるのかきはくわてくうゑ候てくわうまか いつまてむこちやすくにたまわり申（候）/星とこ るこりかいらは人むおさいるなにおおきいられる な/おといとにうりかいて御はんはこいあいか候 ておかみあるへし/しよよりよりこちひらの大やかくも いか方へまいる/嘉靖三年四月二十日 |
| I-3 | 嘉靖8年 | | | 12月29日 | | 元の首里大屋の子チャクモイ | 奄美 | 大和村教育委員会 | | しよりの御ミ事/かさりまきりの/うすくの大やこハ /一人もとしよりの大やこかくわ/ちやくもい★ に/たまわり申候/（しよよりよりちやくもい方へま いる）/嘉靖八年十二月廿九日 |
| I-4 | 嘉靖15年 | | | 5月13日 | | 北の庫理の官舎 | 沖縄 | 沖縄県立博物館・美術館（寄託） | ○ | しよりの御ミ事/にはらまきりの/あめくのみとぬ し/ところハ/にこのりの一人くわしやに/た まわり申候/しよよりよりくわしや方へまいる/嘉 靖十五年五月十三日 |
| I-5 | 嘉靖16年 | | | 8月20日 | | 南風の庫理の天久の小屋子もい | 沖縄 | 沖縄県立博物館・美術館（寄託） | ○ | しよりの御ミ事（事）/たうへまい（る）/つぎ とミかせん□□（とうハ）/はまのここのり（の） /一人あめくの大や□□□□（くもい）/たまわり 申（候）/しよよりより□□□□ありあめくの大やくも い□□□□（方へまいる）/嘉靖十六年八月□□（廿 日） |
| I-6 | 嘉靖20年 | | | 8月10日 | | □□□□のマサプロ文字 | 沖縄 | 沖縄県立博物館・美術館（寄託） | ○ | しよりの御ミ事/まなはんまいるせちあらとまかち くと□□（のハ）/一人★□□ひこのり/まらふろ てく□□★（に）/たまわり申候/しよよりよりまらふ ろてくの方へまいる（る）/嘉靖廿年八月十日 |
| I-7 | 嘉靖24年 | | | 11月6日 | | 南風の庫理の天久の小屋子もい | 沖縄 | 沖縄県立博物館・美術館（寄託） | ○ | しよりの御ミ事/まわしまきりの/きまかなくすく の/きとぬしとところハ/はまのここのり/一人あめく の大やぐもい/たまわり申候/しよよりよりあめく の大やぐもい方へまいる/嘉靖二十四年十一月廿日 |
| I-8 | 嘉靖27年 | | | 10月28日 | | 東の首里大屋 | 奄美 | 個人蔵（1978時点） | ○ | しよりの御ミ事（事）/せんとうにしまきりの/に しの大やこハ/一人ひかのしよりの大やこに/たまわ り申候/しよよりよりひかのしよりの大やこ方へま いる/嘉靖二十七年□□（十）月廿八日 |
| I-9 | 嘉靖30年 | | | 4月13日 | | 南風の庫理の備間金城の小屋子もい | 沖縄 | 沖縄県立博物館・美術館（寄託） | ○ | しよりの御ミ事/まわしまきりの/きまのさとぬし/ ところハ/はまのここのり/一人★まかなくすく ★の大やぐもい/たまわり申候/しよよりよりかなく すくの大やぐもい方へまいる/嘉靖三十年四月十三 日 |
| I-10 | 嘉靖33年 | | | 8月29日 | | 謝国富引の沢の掟 | 奄美 | 個人蔵 | ○ | しよりの御ミ事/きやのしとおけまきりの/大すく くの大やこハ/ちやくとみかひきの/一人さのお おきてに/たまわり申候/しよよりよりさのおきての方 へまいる/嘉靖三十三年八月廿九日 |
| I-11 | 嘉靖33年 | | | 12月27日 | | たらつみはん | 奄美 | 個人蔵（1978時点） 『宇検村誌資料編第二集奄美大島屋敷内の文書』 | ○ | しよりの御ミ事/やけうちまきりの/なのおんのおきて ハ/ひとりたつみはん/にたまわり申候/しよより よりたつみはんの方へまいる/嘉靖三十三年十二月廿 七日 |
| I-12 | 嘉靖35年 | | | 8月11日 | | 名音の掟 | 奄美 | 個人蔵（1978時点） 『宇検村誌資料編第二集奄美大島屋敷内の文書』 | ○ | しよりの御ミ事/やけうちまきりの/なからのおきて ハ/一人おんのおきてにたまわり申候/しよより よりおんのおきての方へまいる/嘉靖三十五年八月十一 日 |
| I-13 | 嘉靖38年 | | | 10月15日 | | 今縁仁の掟 | 沖縄 | 沖縄県立図書館 | ○ | しよりの御ミ事/中くすまきりの/ふてまのうら ふまきかちの内より/一人せちよくと八まし/ミ まはる又大まはるとも/又 五十ぬまきはたけ三 おほそ/いけまはる又たうはる共=もいなまの かりかけ/一人ミやきせんおきてに給候/しよより ミやきせんおきての方へまいる/嘉靖三十八年十月十 五日 |
| I-14 | 嘉靖39年 | | | 8月8日 | | 北の庫理の瀬底の小屋子もい | 沖縄 | 沖縄県立博物館・美術館（寄託） | ○ | しよりの御ミ事/とよまくすまきりの/大ミおのさ とぬし/ところハ/にこのりの/一人せその大 やぐもい/たまわり申候/しよよりよりせそこ大や ぐもい方へまいる/嘉靖三十九年八月八日 |
| I-15 | 嘉靖41年 | | | 12月5日 | | 南風の庫理の大嶺の小屋子もい | 沖縄 | 沖縄県立博物館・美術館（寄託） | ○ | しよ（り）の御ミ事/ふさいとまかひきのけらゑあ くかへ/せんとうハ/はまのここのり/一人大ミお の大やぐもい/たまわり申候/しよよりより大ミお の大やぐもい方へまいる/嘉靖四十一年二月五日 |
| I-16 | 嘉靖42年 | | | 7月17日 | | 与嘉嶺の小屋子 | 沖縄 | 兼次尋常高等小学校『御案内・名所旧蹟』 | | （しよりの御ミ事）/「前段損欠」/（ ）くひきな からミしやもちなつぽりみかぬい/又 四かためお けのせぢみかぬい/又 一かためおけのはかぬい /又 一かためおけのおれずむさぬい/又 一かた めおけの正月さかぬい/又 一くひきミしやもち ともい/又 一かためおけのけおらぬい/又 五 かためおけのきみかぬいのおのさかぬい/又 一く ひきミしやもちともい/このふのミかぬいは上申ある コトイハシヤチヒイチ 481 482 483 484 485 486 |

(2) 本研究に関連する研究成果等

- ・麻生伸一「古文書からみる近世琉球」博物館文化講座（沖縄県立博物館・美術館）、2021年9月23日（オンライン／講演）
- ・濱地龍磨「近世琉球辞令書の書式変化について」第159回首里城研究会、2021年12月12日、首里城公園管理センター（研究報告）
- ・濱地龍磨「口上（口上覚）、覚（覚写）の文書的性格について」第161回首里城研究会、2022年3月12日、首里城公園管理センター（研究報告）
- ・濱地龍磨「〈史料紹介〉評定所文書に収録された任職関連文書」沖縄県教育庁文化財課史料編集班編『沖縄史料編集紀要』第45号、2022年刊行。
- ・濱地龍磨「近世琉球辞令書の書式変化に関する一考察」首里城研究会編『首里城研究』

第 24 号、2022 年刊行。

(3) 公開研究発表会

[日時] 2022 年 7 月 6 日

[場所] 琉球大学文系講義棟 114 教室 *
オンラインとのハイブリッド開催

[内容]

趣旨説明

山田 浩世 (報告資料)

報告

矢野 美沙子「首里王府における文書
発給に関する一考察」

濱地 龍磨「乾隆期における親見世関
係の任職文書」

麻生 伸一「三司官の任用と起請文」

コメント

屋良健一郎・豊見山和行・高良倉吉

琉球沖縄歴史学会2022年度8月例会
琉球国の任用文書等に関する史料学報告会

日時：8月21日(日) 14:00から17:00
場所：琉大文系講義棟114
(Zoomとのハイブリッド開催予定)

報告
14:00~14:20
「趣旨説明」
山田 浩世
14:25~15:05
「首里王府における文書発給に関する一考察」
矢野 美沙子
15:10~15:50
「乾隆期における親見世関係の任職文書」
濱地 龍磨
15:55~16:35
「摂政・三司官の任用と起請文」。(仮)
麻生 伸一

コメント (各10分程度)
屋良 健一郎
豊見山 和行
高良 倉吉

[首里之御詔] 沖縄県立図書館所蔵 CC BY 4.0

後援：おきぎんふるさと振興基金

お問い合わせ
琉球沖縄歴史学会事務局 ryuokishigaku (at) gmail.com * (a) をアットマークに置き換えてください。
琉球大学人文社会学部 麻生伸一研究室



おわりに

コロナウイルス感染症の蔓延から思うような調査はできなかったが、今回の調査研究では、これまでの研究では確認できなかった新たな史料を入手できたことは大きかった。また、琉球辞令書を実見したことで、古文書学(史料学)の手法による分析に取り組むことができた。

今回得られたデータをもとに辞令書集成として公表できるレベルでデータベースをまとめることができた。今後、解説付きの史料集としてまとめていく基礎ができたのは、今回の事業のもっとも重要な成果である。本事業で得た成果をもとに琉球沖縄史の基礎史料となる琉球辞令書集成として公開していきたい。